

IT パスポート短期合格セミナー

1. 試験体系 <情報処理技術者試験> 経済産業省が実施する国家試験

L4	高度な知識・技能	高度(プロフェッショナル)試験		
		ITストラテジスト試験	システムアーキテクト試験	プロジェクトマネージャ試験
		ネットワーク スペシャリスト試験	データベース スペシャリスト試験	エンベデッドシステム スペシャリスト試験
		情報セキュリティ スペシャリスト試験	ITサービスマネージャ試験	システム監査技術者試験
L3	応用的知識・技能	応用情報技術者試験(AP)		
L2	基本的知識・技能	基本情報技術者試験(FE)		
L1	職業人に共通に求められる基礎知識	ITパスポート試験(IP)		

2. 試験の対象者

職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識をもち、情報技術に携わる業務に就くか、担当業務に対して情報技術を活用していこうとする者

3. 試験日・試験時間・出題形式・出題数

試験日	試験時間	出題形式	出題数
春(4月第3日曜日)	9:30~12:15	四択択一	88問(小問)+3問(中間)×4
秋(10月第3日曜日)	(165分)		=100問

4. 配点・合格基準

配点	基準点
1,000点満点	総合得点: 満点の60% 分野別得点: 分野別満点の30%

5. 応募者数・受験者数・合格率

	応募者数	受験者数	合格者数	合格率
H21 春期	46,845	39,131	28,540	72.9%
H21 秋期	71,856	61,313	31,080	50.7%
H22 春期	63,680	52,299	22,098	42.3%
H22 秋期	71,574	60,056	31,161	51.9%

6. その他

- (1) 経済産業大臣により合格証書が交付。試験合格の有効期間はない。
- (2) 願書受付は、郵便では平成23年1月17日(月)~2月14日(月)消印有効、インターネットでは、平成23年1月17日(月)10時~2月23日(水)20時締切り。受験料は5,100円。

7. 学習内容

分野	大分類	小分類	学習時間の目安
ストラテジ系 (戦略)	企業と法務	①企業活動 ②法務	5 時間
	経営戦略	③経営戦略マネジメント ④技術戦略マネジメント ⑤ビジネスインダストリ	2.5 時間
	システム戦略	⑥システム戦略 ⑦システム企画	
	開発技術	⑧システム開発技術 ⑨ソフトウェア開発管理技術	3.5 時間
	プロジェクトマネジメント	⑩プロジェクトマネジメント	1.5 時間
	サービスマネジメント	⑪サービスマネジメント ⑫システム監査	
	基礎理論	⑬基礎理論 ⑭アルゴリズムとプログラミング	3 時間
テクノロジ系 (技術)	コンピュータシステム	⑮コンピュータ構成要素 ⑯システム構成要素 ⑰ソフトウェア ⑱ハードウェア	3.5 時間 2.5 時間
	技術要素	⑲ヒューマンインタフェース ⑳マルチメディア ㉑データベース ㉒ネットワーク ㉓セキュリティ	3.5 時間 5 時間
合計 30 時間			

<ストラテジ系>

①組織形態、品質管理技法(QC 七つ道具)、財務会計(財務諸表)、管理会計(損益分析) ②知的財産権(著作権)、労働法規(派遣と請負) ③PPM(Products Portfolio Management) ⑤EC と EDI ⑥BPR(Business Process Reengineering) ⑦RFP(Request For Proposal)

<マネジメント系>

⑧開発モデル(ウォーターフォールモデルとプロトタイプモデル)、DFD(Data Flow Diagram)、テスト、運用(バックアップ) ⑩PERT ⑪サービスデスク ⑫内部統制

<テクノロジ系>

⑬2 進数 ⑭プログラム言語、マークアップ言語 ⑮五大装置 ⑯クライアントサーバシステム、稼働率 ⑰OS、文字コード、表計算ソフト ⑱パソコン ⑲GUI ⑳データフォーマット ㉑関係データベース ㉒インターネット、LAN、WAN ㉓暗号化技術、認証技術、コンピュータウイルス

8. 過去問題の例

<ストラテジ系>

問 経営組織のうち、事業部制組織はどれか。(①からの出題)

- ア 社内組織を小集団に分け、全体を構成する一部の機能として相互作用的に活動させる。
- イ 商品企画、購買、製造、営業といった同じ機能を行う単位で、社内組織を分割する。
- ウ 製品や市場ごとに社内組織を分割し、利益責任単位として権限と目標が与えられる。
- エ 二つの異なる組織体系に社員が所属することによって、必要に応じて業務に柔軟に対処する。

問 知的財産権のうち、権利の発生のために申請や登録の手続きを必要としないものはどれか。(②からの出題)

- ア 意匠権 イ 実用新案権 ウ 著作権 エ 特許権

問 プロダクトポートフォリオマネジメントでは、縦軸に市場成長率、横軸に市場占有率をとったマトリックス図を四つの象限に区分し、製品の市場における位置付けを分析して資源配分を検討する。四つの象限のうち、市場成長率は低いが市場占有率を高く保っている製品の位置付けはどれか。(③からの出題)

- ア 金のなる木 イ 花形製品 ウ 負け犬 エ 問題児

<マネジメント系>

問 ソフトウェア開発プロセスを“要件定義”、“システム設計”、“プログラミング”、“テスト”の各工程に区切って、この順に進める手法の長所はどれか。(⑧からの出題)

- ア 開発工程のどの時点でも、ソフトウェアの仕様変更に対応できる。
- イ 開発の進捗状況の把握が容易である。
- ウ 上流工程におけるレビューの工数が少なくて済む。
- エ 利用者が、開発の早い時期にソフトウェアを試用できる。

問 入力と出力だけに着目して様々な入力に対して仕様書どおりの出力が得られるかどうかを確認していく、システムの内部構造とは無関係に外部から見た機能について検証するテスト方法はどれか。(⑨からの出題)

- ア 運用テスト イ 結合テスト ウ ブラックボックステスト エ ホワイトボックステスト

<テクノロジー系>

問 2 台の処理装置からなるシステムがある。両方の処理装置が正常に稼働しないとシステムは稼働しない。処理装置の稼働率がいずれも 0.90 であるときのシステムの稼働率は幾らか。ここで、0.90 の稼働率とは、不定期に発生する故障の発生によって運転時間の 10%は停止し、残りの 90%は正常に稼働することを表す。2 台の処理装置の故障には因果関係はないものとする。(⑩からの出題)

- ア 0.81 イ 0.90 ウ 0.95 エ 0.99

問 PC 間で電子メールを送受信する場合に、それぞれの PC とメールサーバとのやり取りで利用される通信プロトコルに関する記述のうち、適切なものはどれか。(⑫からの出題)

- ア PC から送信するときは POP が利用され、受信するときは SMTP が利用される。
- イ PC から送信するときは SMTP が利用され、受信するときは POP が利用される。
- ウ PC から送信するときも、受信するときも、ともに POP が利用される。
- エ PC から送信するときも、受信するときも、ともに SMTP が利用される。

問 暗号化に関する記述のうち、適切なものはどれか。(⑬からの出題)

- ア 暗号文を平文に戻すことをリセットという。
- イ 共通鍵暗号方式では、暗号文と共通鍵を同時に送信する。
- ウ 公開鍵暗号方式では、暗号化のための鍵と平文に戻すための鍵が異なる。
- エ 電子署名には、共通鍵暗号方式が使われる。

9. 短期合格のための効果的な学習法

(1) 教材

ポイント集, 本試験問題, (テキスト, 分野別問題集)

(2) 学習スケジュール…(学習期間の目安:3ヶ月)

1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4/17
ストラテジ系 マネジメント系	テクノロジ系	本試験問題演習 (公開模試)	本試験
ポイント集 (テキスト・分野別問題集)		本試験問題 (模擬試験)	

<参考>

●TAC 教室講座(集中特訓コース)

[基本講義] 2.5 時間×7 回=17.5 時間

[学習時間合計] 17.5 時間×2=35 時間

●使用教材

- ・超速ポイント集
- ・試験対策テキスト
- ・問題集…本試験問題集(3 回分)/試験対策問題集(分野別),

(3) 学習方法

・大分類ごとに、ポイント集で重要ポイントを学習(インプット)→問題集で演習(アウトプット)を繰り返す

・ポイント集で用語を定着させる

・本試験問題の「中間」を解いて、中間対策を行う

・計算問題のパターンをつかむ

・模擬試験などを利用して、165 分で 100 問を解く練習をする

・表計算・データベースは、初級シスアドほど深掘しなくてよい

<参考>平成 22 年秋期本試験 中間 C

【中間 C】 作業計画に関する次の記述を読んで、問97 ～ 100 に答えよ。

E 社の情報システム部では、新しい販売管理システム（以下、新販売管理システムという）の導入を計画している。情報システム部の新入社員 F さんは、既存の販売管理システムから新販売管理システムへの切替作業について、先輩の指導の下に作業時間の見積りを行うことになった。作業計画の一覧は、次の表に示すとおりである。

表 作業計画の一覧

作業番号	作業項目	作業予定時間 (時間)	先行作業番号
①	システムの停止	0.5	なし
②	システムのバックアップ	2	①
③	移行データの抽出	1	①
④	ソフトウェアのインストール	3	②, ③
⑤	システムの設定作業	2	④
⑥	移行データの投入	3	④
⑦	動作確認表の準備	1.5	④
⑧	動作確認	2	⑤, ⑥, ⑦

〔ストラテジ〕

問97 F さんは、全体の作業時間を求めるために表の内容を整理することにした。F さんは、一連の作業の中で並行して実施可能な作業を抜き出した。並行して実施可能な作業の組合せをすべて挙げているものはどれか。ここで、括弧内は並行して実施可能な作業を示している。

- ア (②, ③) イ (②, ③) と (④, ⑤, ⑥)
ウ (②, ③) と (⑤, ⑥, ⑦) エ (⑤, ⑥, ⑦)

〔ストラテジ〕

問98 F さんは全体の作業時間を考える上で、表の各作業の順序と時間を検討した。このとき、クリティカルパス上の作業の順序を示しているものはどれか。ここで、矢印は作業の順序を示している。

- ア ① → ② → ④ → ⑤ → ⑧
イ ① → ② → ④ → ⑥ → ⑧
ウ ① → ③ → ④ → ⑥ → ⑧
エ ① → ③ → ④ → ⑦ → ⑧

〔マネジメント〕

問99 F さんは表の作業全体が最も早く終了する時間を求めた。その時間は何時間か。

- ア 10 イ 10.5 ウ 11 エ 11.5

〔マネジメント〕

問100 F さんが全体の作業時間を求めたところ、当初想定していた時間より長くなったので、時間を短縮することを検討するように先輩から指示された。表に示される全体の作業時間を最も短縮できる方策はどれか。

なお、並行して実施可能な作業はすべて並行して実施するものとする。

- ア 作業②を 1.5 時間短縮する。 イ 作業④を 1.5 時間短縮する。
ウ 作業⑤を 1.5 時間短縮する。 エ 作業⑥を 2 時間短縮する。